

特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法 8 条、法施行規則第 40、41 条)  
〔PCT18 条、PCT規則 43、44〕

|                               |  |                           |
|-------------------------------|--|---------------------------|
| 出願人又は代理人<br>の書類記号 428-2PCT    | 今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220<br>及び下記5を参照すること。 |                           |
| 国際出願番号<br>PCT/J P 2005/006457 | 国際出願日<br>(日.月.年) 01.04.2005                | 優先日<br>(日.月.年) 08.04.2004 |
| 出願人 (氏名又は名称)<br>株式会社ミクニ       |  |                           |

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条（PCT18条）の規定に従い出願人に送付する。  
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 4 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。  
☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った(PCT規則23.1(b))。

b. ☐ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第I欄参照)。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない(第II欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している(第III欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。  
☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。  
\_\_\_\_\_

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。  
☐ 第IV欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により  
国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ  
の国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に関して

a. 要約書とともに公表される図は、  
第 1 図とする。 ☒ 出願人が示したとおりである。  
☐ 出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。  
☐ 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。

b. ☐ 要約とともに公表される図はない。